

センター
活用事例

起業

離れた家族の絆つなぐ ふるさとの総合窓口

「昨年ファイナリスト！」



「何でも相談
してください」
と越後さん

NPO法人 eナビステーションりあん

〒016-0806 秋田県能代市清助町2-11 TEL. 0185-74-7751 FAX. 0185-74-7750
<https://npo-lien.org/>

市民プラザ(能代市元町)を拠点に
まちなかの活性化にも一役担う



地域のワンストップ型相談窓口



「遠く離れて暮らす家族間の安心と地域への貢献を提供する社会貢献型のプラットフォームが“りあん”の提案するビジネスモデルです」。

昨年開催された「あきたビジネスプランコンテスト」最終審査会において、堂々としたプレゼンを繰り広げたNPO法人eナビステーションりあんの越後康一代表。フランス語で「絆」を意味する“りあん”の名の通り、能代市、藤里町、三種町、八峰町の4市町を対象に、地元に住む高齢の親と遠く離れて暮らす子どもや孫との絆を結ぶべく、双方から寄せられるあらゆる相談事に応じている。

「買い物や草刈りなどの日常生活の支援から空き家の管理や移住・定住の応援まで、普通であれば個別に相談しなければならないことも、りあんに行けば全てが解決する。そんなワンストップ型の窓口を目指しています」。

人々が集まり、笑顔を生むまちづくり

少子高齢化に伴い、衰退していく町並み。地域に活気を取り戻したいと思いながらも、まだぼんやりとしていたふるさとを救う未来図は、ビジネスプランコンテストへの参加を機に、より具体的な構想へと変わっていった。越後代表はコンテスト終了後すぐにりあんを設立し、今年7月からはJR能代駅前の市民プラザを拠点に更なる活動に力を入れている。

「まずは地域の方々を知り、信頼を得ていくことを大切にし、色々な立場の方の話に耳を傾けながら、まち全体の活性化に繋げていきたいですね」。

活動を通して出会った高校生がまちづくりのヒントをくれることもあると越後代表が語るように、市民プラザには連日、老若男女問わず様々な人たちが集う。ふるさとを起点に家族の絆を深めるりあんの活動は、地域の輪に乗せて今、確かに広まっている。



活用事例

あきた起業家交流フェスタの開催

起業意識を醸成、起業家の発掘、新しい事業展開を促進するための「ビジネスプランコンテスト」や「起業家同士の交流会」等を開催します。

お問い合わせ 総合企画部 総合相談課 TEL.018-860-5610